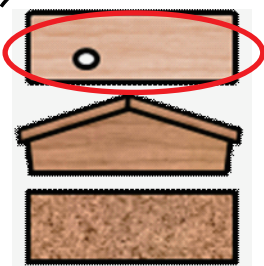


「8 尾張藩の成立」「11 幕末維新の尾張」の資料で、江戸時代の高札について調べよう。

- ^{こうさつ}高札とは、江戸時代に、幕府や藩のきまりを人々に伝えるため、人通りの多い所にかかげられた立札です。形や大きさは様々あります。その内容を見て、当時の様子を想像してみましょう。



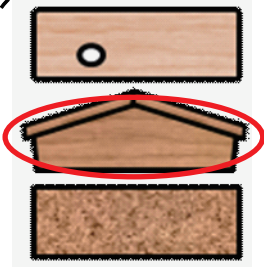
☆ 高札を探して、あてはまる形を○でかき、（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。



どんな形？

8-3 統制 【尾張藩高札 天保12年(1841)】

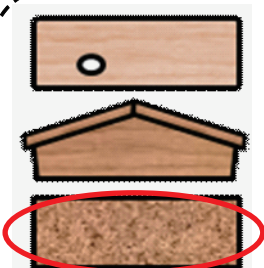
近頃は押し込み強盗や（^{どろぼう}）が多いので、あやしい者を見かけた場合は、^{せんぎ}詮議（取り調べ）の上、捕えておくように（^{村人}）に命じた尾張藩の^{ふれ}触（法令）を高札にしたもの。



どんな形？

8-5 街道と宿場 【江戸幕府高札 慶応3年(1867)】

（^{なるみ}鳴海）宿に立てられた立札で、^{ちりゅう}知立と^{だちん}熱田への駄賃（馬で人や荷物を運ぶ時の（^{運賃}））や人足賃（人が荷物を運ぶ時の（^{運賃}））を記す。 ヒント:2番目と3番目は同じ言葉が入ります。



どんな形？

11-1 長州征伐 【江戸幕府高札 元治元年(1864)】

近頃、^{じょうい}攘夷（外国人を打ち払うこと）を口実にして（^{金銭}）を^{むしん}無心（お金やものをほしがること）する^{ろうにん}浪人（勤め先のない武士）が増えているので、見つけ次第（^{捕える}）よう命令した高札。

考 え て
み よ う!

高札は、今でいうと、（^{看板}）や（^{新聞}）
テレビなどのように、人々に情報を伝える役割をしていました。

※（ ）の中は、ラジオやポスターでも正解です。